

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 タツモ株式会社

コード番号 6266

URL <http://www.tazmo.co.jp/ia/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 0866-62-0923

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,385	10.2	△296	—	△269	—	△255	—
25年12月期第1四半期	1,256	11.0	△536	—	△430	—	△436	—

(注)包括利益 26年12月期第1四半期 △281百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △360百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△75.27	—
25年12月期第1四半期	△128.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	13,305	3,822	28.4	1,112.10
25年12月期	12,978	4,099	31.3	1,194.78

(参考)自己資本 26年12月期第1四半期 3,780百万円 25年12月期 4,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,070	12.0	△380	—	△325	—	△328	—	△96.77
通期	9,719	39.7	139	—	174	—	151	—	44.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	3,400,000 株	25年12月期	3,400,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	472 株	25年12月期	472 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	3,399,528 株	25年12月期1Q	3,399,584 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	9
(受注状況)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策により、円安や株高基調が維持され、Windows X Pのサポート終了や消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、景気は緩やかな回復傾向が見られました。一方、海外においては、ウクライナ情勢など不安要素は見られるものの、米国などの先進国を中心に景気は底堅く推移しました。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末用途では比較的堅調に推移しましたが、液晶テレビやデジタル家電用途では低調でありました。

このような経営環境のなか、当社グループは、半導体製造装置の営業強化、新規装置開発に取り組むとともに、全社的にコスト削減に取り組んでまいりました。しかし、受注している海外向け装置の売上計上が、下期に計画されているため、損失となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,385百万円（前年同期比10.2%増）、営業損失296百万円（前年同期は営業損失536百万円）、経常損失269百万円（前年同期は経常損失430百万円）、四半期純損失255百万円（前年同期は四半期純損失436百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(プロセス機器事業)

半導体装置部門につきましては、半導体メーカーが設備投資に慎重になっているため、納期・価格ともに厳しい状態が続いておりますが、当部門の売上高は37百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

搬送装置部門につきましては、引き続き納期などは厳しい状況ですが、売上高は397百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

洗浄装置部門につきましては、積極的に営業活動をしておりますが、売上の計上が第2四半期以降となるため、売上高は135百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

コーター部門につきましては、液晶テレビ需要の低迷によりカラーフィルター製造装置は激減しておりますが、パソコンやタブレット端末用途での需要があり、当部門の売上高は429百万円（前年同期比288.0%増）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は999百万円（前年同期比9.1%増）、営業損失292百万円（前年同期は営業損失530百万円）となりました。

(金型・樹脂成形事業)

金型・樹脂成形事業につきましては、デジタル家電製品向け材料を主体としており、納期や製品価格については依然として厳しい状況が続いておりますが、消費税増税前の駆け込み需要などにより、金型・樹脂成形事業の売上高は385百万円（前年同期比13.2%増）、営業損失4百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ425百万円増加しました。これは、「たな卸資産」の増加が主な要因であります。有形固定資産は4,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円の減少しました。これは、「建物及び構築物」、「機械装置及び運搬具」の減少が主な要因であります。無形固定資産は464百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円の減少となりました。これは、「のれん」の減少が主な要因であります。

この結果、当連結会計年度の総資産は、前連結会計年度に比べ326百万円増加し、13,305百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ690百万円の増加となりました。これは、「前受金」の増加が主な要因であります。固定負債は835百万円となり、前連結会計年度に比べ86百万円の減少となりました。これは、「長期借入金」の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ277百万円減少し、3,822百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」の減少255百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月10日の「平成25年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、3期連続で営業損失を計上しております。当第1四半期連結累計期間においても296百万円の営業損失を計上するなど、継続的な営業キャッシュ・フローのマイナスとなっております。これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該事象を解消又は改善するための対応策は、次のとおりであります。

半導体製造プロセス装置の販売拡大に取り組んでまいりますとともに、経費の削減、装置原価の低減、研究開発テーマの絞込み等を実施し業績の改善を図ってまいります。

市場環境に対応すべく、機動的な組織改革を図ってまいります。

事業計画に経費削減を織り込み、進捗状況を徹底して管理し、収益性の改善を図ってまいります。

財務面については、資金計画において必要資金は確保できる見込みであるため、財務面及び資金面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」は記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	733,550	754,233
受取手形及び売掛金	1,577,755	1,222,561
電子記録債権	267,657	161,399
たな卸資産	5,012,798	6,022,168
繰延税金資産	3,241	3,384
その他	287,616	144,298
貸倒引当金	△1,100	△1,392
流動資産合計	7,881,520	8,306,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,120,881	2,083,868
機械装置及び運搬具（純額）	631,406	607,758
土地	1,202,846	1,202,846
その他（純額）	177,828	187,694
有形固定資産合計	4,132,962	4,082,168
無形固定資産		
のれん	442,494	429,997
ソフトウェア	25,264	28,233
その他	6,312	6,233
無形固定資産合計	474,071	464,464
投資その他の資産		
投資有価証券	275,059	276,695
その他	423,029	383,033
貸倒引当金	△207,697	△207,502
投資その他の資産合計	490,392	452,226
固定資産合計	5,097,426	4,998,859
資産合計	12,978,946	13,305,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,252,893	1,901,287
短期借入金	3,852,358	3,071,868
未払金	540,733	666,833
未払法人税等	16,547	7,305
前受金	928,322	2,805,240
賞与引当金	31,349	87,517
製品保証引当金	91,101	92,128
役員退職慰労引当金	216,381	—
その他	27,289	15,458
流動負債合計	7,956,977	8,647,637
固定負債		
長期借入金	614,784	564,762
退職給付引当金	135,077	133,913
役員退職慰労引当金	86,270	64,931
資産除去債務	49,234	48,619
その他	36,834	23,627
固定負債合計	922,200	835,854
負債合計	8,879,178	9,483,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,240	1,395,240
資本剰余金	1,909,398	1,909,398
利益剰余金	570,054	314,179
自己株式	△699	△699
株主資本合計	3,873,992	3,618,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,799	13,857
為替換算調整勘定	174,906	148,637
その他の包括利益累計額合計	187,706	162,495
新株予約権	38,069	41,408
純資産合計	4,099,768	3,822,021
負債純資産合計	12,978,946	13,305,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,256,582	1,385,056
売上原価	1,201,754	1,173,750
売上総利益	54,828	211,305
販売費及び一般管理費	590,891	508,299
営業損失(△)	△536,063	△296,994
営業外収益		
受取利息	5,070	230
受取配当金	166	140
為替差益	21,240	-
保険解約返戻金	39,707	31,450
役員退職慰労引当金戻入額	39,011	20,257
その他	14,255	4,900
営業外収益合計	119,451	56,978
営業外費用		
支払利息	10,405	10,679
為替差損	-	17,035
その他	3,036	1,776
営業外費用合計	13,441	29,491
経常損失(△)	△430,053	△269,507
特別利益		
固定資産売却益	377	-
特別利益合計	377	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△429,675	△269,507
法人税等	6,736	△13,632
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△436,412	△255,875
四半期純損失(△)	△436,412	△255,875

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△436,412	△255,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,814	1,058
為替換算調整勘定	65,215	△26,268
その他の包括利益合計	76,030	△25,210
四半期包括利益	△360,381	△281,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360,381	△281,085
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業			
売上高					
外部顧客への売上高	916,131	340,451	1,256,582	-	1,256,582
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	945	945	△945	-
計	916,131	341,396	1,257,528	△945	1,256,582
セグメント損失(△)	△530,563	△5,499	△536,063	-	△536,063

(注) 1. 調整額は、セグメント間売上の消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業			
売上高					
外部顧客への売上高	999,638	385,417	1,385,056	-	1,385,056
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	339	339	△339	-
計	999,638	385,756	1,385,395	△339	1,385,056
セグメント損失(△)	△292,122	△4,872	△296,994	-	△296,994

(注) 1. 調整額は、セグメント間売上の消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

5. 補足情報

(受注状況)

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
プロセス機器事業	1,700,758	5,478,209
半導体装置	170,610	550,714
搬送装置	426,670	590,791
洗浄装置	128,859	1,004,854
コーター	974,617	3,331,848
金型・樹脂成形事業	367,431	189,578
合計	2,068,189	5,667,788

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。